



知夫小中学校
 Tel 08514-8-2015
 Fax // 8-2312
 〒684-0100
 知夫村 1053-1
 [HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

少年の主張島根県大会 島根県教育委員会教育長賞受賞

国語科担当

九月二十五日(水)に、木次町チエリヴァホールで令和六年度少年の主張島根県大会が開催され、本校三年の■■■■さんが隠岐郡代表として出場しました。県内の市郡代表十六名がそれぞれに素晴らしい主張を繰り広げる中、全体の第二位にあたる島根県教育委員会教育長賞を受賞しました。目標としていた全国大会出場には一歩及びませんでした。豊かな表現力を発揮し、観衆の心を打つ発表をすることができました。隠岐中学校弁論大会を終えてからの短い期間、受験勉強や生徒会活動と両立させ、練習を重ねた■■■■さん。今回の大会で得たさまざまな学びを日常生活にも生かして、さらに大きく成長して行ってほしいと期待しています。なお、知夫中学校は、一昨年度の■■■■さん、昨年度の■■■■さんにつづき、三大会連続、県大会での入賞という快挙を果たし、弁論のレベルの高さを示すことができました。

中学部三年

県弁論大会では、前日からとても緊張していました。しかし、発表では、練習で意識していた堂々と話すことやメリハリを出すことができました。他の代表の発表もとても素晴らしく、さまざまな着眼点から話をされており、弁論を聞くこともとても楽しかったです。島根県教育委員会教育長賞をいただけて、とても嬉しい気持ちでいっぱいです。ご指導いただいた■■■■先生、応援していただいたすべての皆様、ありがとうございました。



島根県中学校英語弁論大会 優良賞受賞

英語科担当

九月二十七日(金)に浜田市のふれあいジム・かなぎにて、令和六年度島根県中学校英語弁論大会(高円宮杯第七十六回全日本中学校英語弁論大会)が開催され、県内の代表十三名が日頃の英語学習の成果を発揮し、堂々とした主張を発表しました。

本校からは中学校三年の■■■■さんが出場し、「What Controls Us?」(私たちが支配するもの)というタイトルで、SNS上の誹謗中傷について実体験をもとに意見を述べました。審査員の方からは、「時代に合ったテーマがよかった」「スピーチの構成が分かりやすく、最後のメッセージが印象に残った」といった評価をいただき、見事優良賞を受賞しました。

中学部三年

大会本番では、早口のスピーチになってしまいましたがそれ以外に目立ったミスもなく優良賞に選ばれることができました。とても嬉しく思っています。また、弁士の方々の話を聞く中で、他の中学生がどのくらいの英語力を持っているか知ることができました。原稿作りや練習の段階では、新しい文法や単語なども身につけることができ、学習の役にも立ちました。大勢の人の前に立つ機会はあまりないのでとても良い経験になったと思います。貴重な機会をくださった先生方や、応援してくださった周りの皆様から感謝しています。



隠岐郡中学校新人大会

女子顧問

令和六年度の隠岐郡新人大会が、十月十、十一日に行われました。本校からは、一年生の三名が出場しました。■■■■さんは海士中学校の一年生とペアを組み、二学期以降の土・日曜日に合同練習を行ってきました。■■■■さんと■■■■さんは三年生が引退した後、二人で一からペアとしての練習を積み重ねてきました。当日は、緊張した様子も見られましたが、それぞれが練習の成果を発揮し、ポイントを重ね喜び合う姿を見ることができました。来年のブロック大会に向け、この経験を生かし「出来なかったことを出来るよう練習していくこと」を壮行式で三名が言っていた「マナーを大切すること」を忘れないで欲しいと思います。

中学部一年

僕は今回の新人戦を終えて、練習ではできていても、本番になると会場の雰囲気にもよったり、緊張したりして、いつも通りの力が五・六割も出せないということが分かりました。だから、これから今回の結果と現状を踏まえて、練習から本番を想像し、適度な緊張感を持ちながら練習していくかと思っています。マナー面では、会場での本部的方や他校の方々に挨拶することができました。これからは、練習時間が限られるので、朝練などもしっかりやっていこうと思っています。

中学部一年

私は、今回の新人戦で「自分たちの今できる力を発揮すること」「試合を通して、反省点を見つけ、次に生かすこと」を目標に本番にのぞきました。大会では、ペアでの声の掛け合いができて、プレーでも相手に立ち向かうことができました。だから、試合内容は良かったと思います。しかし、全力を出しても二試合目は勝つことができませんでした。私はこれから今までの練習をもとに、出来ることを増やし、来年のブロック大会で自分の力を発揮したいです。



中学部一年

私は、新人戦に向けて、「自分がやれることは少ないけれど、出来ることは精一杯やろう」と練習してきました。大会に出るのが初めてだったので、すごく緊張しました。でも、大会では、大きな声を二人で掛け合い、普段通りの自分を出すことができました。また、試合だけでなく審判もしっかりすることができました。すごく悔しかったですが、自分の「良いところ」「反省すべきところ」が分かったので、来年の郡総体につながられるよう頑張りたいと思います。これまで応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

小学部三・四年総合の時間

担当

三・四年生の今年の総合のテーマは伝統・文化です。一学期は、一宮神社のひみつについて調べ、観光パンフレットを作りました。図書館や観光協会に置いているので、ご覧になった方もいると思います。二学期は、隠岐民謡について学習しています。■■■■さんに来ていただき、隠岐民謡の由来を話していただきました。素敵な歌声と三味線の音色も聞かせていただきました。

また、■■■■さん・■■■■さん・■■■■さんには、いろいろな隠岐民謡の踊りを見せていただきました。民謡への興味や憧れが高まったところで、子どもたちは今、知夫の代表的な民謡「どつきり節」の踊りを練習しています。お披露目は十一月のふるさと発表会を予定しています。こうしてたくさんの方にお世話になりながら、総合の学習をすすめることに感謝の気持ちでいっぱい입니다。本番も地域の方と民謡を楽しめたら嬉しいです。



校内音楽会・島前音楽会

音楽担当

十月十五日に校内プレ発表会が、十七日には七十回目となる島前小中学校連合音楽会が行われました。今年度の連合音楽会では知夫小中学校で久しぶりとなる全校合奏に取り組みました。パート数が多く練習が大変な部分もありましたが、下学年に弾き方を教える先輩の姿や、休み時間を使って自主練習に取り組む子ども達の姿が印象的でした。本校では、小学一〜三年生が歌う『ハクナ・マタタ』、全校の児童生徒が演奏する『サークル・オブ・ライフ』の二曲を演奏しました。『ハクナ・マタタ』では小学生らしい元気で明るい歌を、『サークル・オブ・ライフ』ではボーカル三人を中心とした、アカペラから始まる力強く感動する演奏となるよう練習を重ねていきました。本番では大勢を前に堂々と楽しんで歌い演奏をする姿が見られ、聴いていただく方々に自分たちの音楽を伝えようという強い気持ちを感じられました。音楽を通して一つのことに向かって仲間と協力することの大切さや、音楽会を通して得た達成感が今後の活動につながるように心に残して欲しいと思います。

小学部二年

今までのれんしゅうでがんばったせいかなをほっきて、きれいな声で歌えました。じぶんのめあての「音を出すときをまちがえない」もはつきりできてうれしかったです。三年生になったらレベルの高いうれしさを味わうので、それをがんばりたいです。

小学部四年

知夫小中のめあての力強いえんそうはできたし、聞いている人ものりりだったの、いいえんそうができてよかったです。自分のめあてでは、練習の時はばらばらだったけど、本番は上手にできました。楽しくえんそうできたのでよかったです。福井小の人は、楽ふを見ずにえんそうしていたので、すごいなーと思いました。来年は、今回と同じアコーディオンでバスアコをしたいです。



小学部六年

合唱では、歌う時に目を大きく開ける事や全員で合わせる事ができました。合奏では、EやFはリコーダーや鉄きんと合っていたし、指揮も苦手な所でも見れたのでよかったです。でも少し早くたたいた時もあったので、次の合奏では気をつけたいです。自分のめあてでは、最初の方は他のパートを何も聞いていませんでした。と中からは同じ所を演奏する楽器やアコーディオンの音も聞けるようになりました。これからの音楽の授業では、音を聞くことを大事にして演奏したいです。

中学部一年

今回の音楽会で、やはり演奏は楽しいと感じました。振り返ると、強く張って歌えたり、全体のめあての「力強い歌声」も達成できたと思う。しかも、色々な人から「良かった」「感動した」という声を聞くことができたので、さらに嬉しかった。「聴いている人達を楽しませる」ことが僕の一番の目標だったため、結構満足している。本番では、練習の成果も発揮でき、落ち着いて指揮をきちんと見て、ていねいに演奏することができた。本番で学んだことは、「落ち着くこと」と「周りのことも意識する」ことなので、他のことにも活かして気をつけていこうと思う。音楽会を通して、以前よりも歌うことや演奏することが楽しみになり、好きになった。次の音楽会も、楽しくやりたい。

中学部三年

練習を始めたばかりのときは、何度手本の演奏をきいても、音やタイミングを覚えることができなかった。本番までに完璧にできるようにならなかった。思った。しかし、周りの力も借りながら練習し、なんとか及第点までいけた。また、一通り演奏できるようになってからは指揮でタイミングをとって演奏できるようになったり、弾むような演奏を心がけたりと余裕を持って練習ができた。そのため、本番では目立ったミスもなく、無事に演奏ができた。練習不足の自分がリーダーとして前に立つことは、みんなに申し訳なかったし、とても緊張した。しかし、毎回前に出て課題をみんなに教えていくことで、課題を見つめる力が身についたと思う。また、途中からは積極的に前に出て指揮も取れるようになったので良かった。

知夫小中学校学園祭

児童生徒会担当

十月三日に第二回知夫小中学校学園祭を開催しました。昨年度初めて学園祭を行いました。それが子どもたちからとても好評で、今年も本部が企画・運営を行いました。中学部はお化け屋敷、小学部は縁日、小中合同で各班対抗謎解きを行いました。人数が少ない中でしたが、みんなが協力して学園祭を作り上げることができました。当日は小中学生ともに、素敵な笑顔を見ることができて本当に良かったです。



中学部一年

私は、知夫に来て初めての学園祭で、どんな学園祭になるのだろうと思っていましたが、お化け屋敷や小学部の縁日がすごく面白かったです。また、普段あまり話さない小学生とも話すことができました。中学部全員で作ったお化け屋敷では、みんな楽しそうに活動してくれて、時間をかけて準備してきたかいいがよかったと思います。来年は、私たちが引っ張っていく番なので頑張りたいと思います。

中学部三年

今回の学園祭では、人数が少ないなかでの開催となり、とても大変でしたが、小中学生がテキパキと動いてくれたおかげで、とても良い学園祭にすることができました。お化け屋敷などでも小学生が楽しんでいる姿を見ることができて良かったと思います。これで児童生徒会本部としての活動は終わったので、これからは下級生のフォローを頑張っていきたいです。

小学部二年

十月三日に学えんさいがありました。中学生といっしょにあそんだり、お話ししたりできてうれしかったです。

小学部一年

あのね、きのう、がっこうでおまつりがあってね、ゆいかささんといっしょにすーぱーぼーるをしたよ、たのしかったよ。0こだったけど、たのしかったよ。

